



学校だより ウルムス

令和 3年 10月 29日
横浜市立釜利谷南小学校

11月号

～友達を思いやり、友達とひびき合う心～

校長 田中 さくら

学校ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamariyaminami/>
代表メールアドレス ky-e-kamariyaminami@city.yokohama.jp

釜南スポフェスは、カマナンピック！！

来週から11月霜月で、霜の降りる季節、立冬も迎える11月となります。校庭や体育館でスポーツフェスタに向けての練習が、毎日行われています。休み時間にも応援団、紅白リレー選手、実行委員の児童が練習しています。

学校ホームページには、スポフェススタート集会についても掲載いたしましたが、その中にも、当日にも表に見えてこない、子どもたちの心の葛藤や小さなドラマがあります。例えば卒業した兄姉や家族からも期待されてリレーの選手になりたくて、でも一步タイムが届かず他の友達に先を越されて選手になれず、悔し涙を流した子、練習を見学して、来年は僕が選手になりたいと夢をもっている子、いつかは応援団長にと憧れて、大きな声はいつも出せないけれど、勇気を出して応援団に立候補した子、実行委員になったけれど、開閉会式でのマイクで話すことがとても緊張する子、負けず嫌いで練習から徒競走や集団競技に負けて悔しがると、それを見て「本番はおうちの人が応援してくれるから、作戦を立てて練習して絶対に勝とうよ！」と励まし、心が燃えている子様々です。当日掲示される「輝く自分」カードに表した一人一人の想いも是非ご覧ください。

コロナ禍での2回目のスポフェス、昨年同様の午前中開催で感染対策を講じた内容のプログラムで、各ご家庭2名までの参観にはなりますが、練習の成果を発揮し、子どもたちが輝けるよう、子どもたちと一緒に準備を進めて参ります。保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

コロナ禍での2回目のスポフェス、昨年同様の午前中開催で感染対策を講じた内容のプログラムで、各ご家庭2名までの参観にはなりますが、練習の成果を発揮し、子どもたちが輝けるよう、子どもたちと一緒に準備を進めて参ります。保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



赤組「炎をまといし古代の王者フレアレックス」白組「雪乃花に包まれた九尾の白狐」

この学校便りでも何度かお伝えした通り、今年度、釜利谷南小学校は、「オリ・パラ教育推進校」です。そこで今までも様々な取り組みをしてきましたが、スポフェスでも開会式に「聖火リレー」を行うことになりました。各学年・345組からの児童代表と保護者代表、地域（学校運営協議会）代表と金沢養護学校児童代表による聖火のリレーで、スローガンの「無限のパワーで心をついに！2021」のように多様性の認め合いと心のバリアフリーでいろいろな立場の人が心をついにしてスポフェスを盛り上げるという願いが込められています。（各学年代表児童は、練習を頑張り、当日も舞台上に立てるようにとリレーの補欠選手です。）

実は、この聖火リレーに、パラリンピアン稲葉将選手も聖火ランナーとして招待していました。出席の返事はすぐ来ていたのですが、延期されていたパラ馬術の大きな大会が入ってしまい、参加できなくなりました。その代わりにビデオレターで、全校の子どもたちに応援メッセージを送ってくださることになり、スポフェス前日にみんなで視聴する予定です。パラリンピック開催前の7月に来校した時に、皆さんに応援してもらったお礼がしたいとのことでしたのでご紹介します。



ご連絡



11月1日付けで「非常時の児童の安全確保について」（保存用に黄色紙の印刷物）をご家庭に配付します。4月当初にお配りしているものですが、地震時の対応について追加されていますのでご確認ください。